

## 1. 背景・目的

消防庁では、危険物施設の定期点検等について、現行の点検手法等にとらわれず、最新のデジタル技術その他の技術（以下「デジタル技術等」という。）を活用して効率的・効果的に目的を達成するための方策や制度のあり方を検討しています。

このたび、このような検討に資するデジタル技術等について、技術公募を行うこととしましたので、公表します。

## 2. 公募の対象

### (1) 対象者

危険物施設の定期点検、保安検査等に活用可能なデジタル技術等を保有する企業など

### (2) 公募の内容

① 危険物施設に係るデジタル技術等及び定期点検、保安検査等の方法の内容

② 危険物施設に係るデジタル技術等を活用することによる効果

（例）

- 代替可能な点検項目
- 点検周期の延長等が可能となる点検項目

③ 技術的根拠

（例）

- 現在の点検基準と同等以上の安全を担保できることを示す試験データ、実験結果等
- 研究開発中のデジタル技術等の場合は、今後の試験・実験等の予定

### (3) 対象とする施設等

- 危険物の製造所、貯蔵所又は取扱所

### (4) 対象とする技術

- 危険物施設に係る定期点検、保安検査等に活用可能なデジタル技術等

## 3. 応募方法

### (1) 応募方法

下記メールアドレス宛にデータを送付してください。

E-mail:危険物保安室共有 [fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp](mailto:fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp)

### (2) 募集期間

令和5年2月7日（火）～ 令和5年3月9日（木）

### (3) 応募書類の作成方法

別紙2「応募書類の作成要領」を参照し、作成してください。

## 4. 評価の流れ

次の流れにより、応募書類の評価等を行います。

- ① 一次評価  
提出書類の記載内容を確認を行うとともに、5.「評価方法」に示す観点から評価を行います。  
なお、提出書類の不備等がある場合、ヒアリング調査等を行うことがあります。
- ② プレゼンテーション  
一次評価の結果に基づいて一定数に絞り込まれた提案について、二次評価を行う前に、代表者の方に、応募書類に基づき説明を行っていただく場合があります。（発表時間10分、質疑応答10分）
- ③ 二次評価  
外部の有識者・専門家等から構成する評価会（以下「評価会」という。）において、「5.評価方法」に示す観点から評価を行い、応募作品に対する評価を行います。  
※ 二次評価終了後、透明で公正な評価及び応募者の今後の研究活動に寄与する観点から評価会の意見・コメント等を付し、応募者に通知します。（令和5年4月を予定）

## ■ イメージ図



## 5. 評価方法

- ① 評価基準  
評価会は、次に示す観点から評価・配点基準に基づき評価する。

項目	評価の内容	評価点	配点基準	点数
効果	■ 異常の程度の判別の可否、正確性 ■ 技術導入後の点検の効率性	5	非常に優れている	5点
			優れている	4点
費用	■ 現在の方法と比較した場合の経済性	5	普通	3点
			劣っている	2点
導入可能性	■ 技術の信頼性・保守性 ■ 技術の普遍性 ■ 設置・導入の技術的な容易性	5	非常に劣っている	1点

- ② 評価会について
  - ① 評価会は、非公開で行われます。
  - ② 評価会の委員のうち、利害関係があると考えられる委員は、評価の公平性のため当該評価から除外されます。
  - ③ 評価会の委員は、取得した一切の情報を、委員の職にある期間だけでなく、その職を退いた後についても第三者に漏洩しないこと等の秘密保持を遵守することが義務づけられています。
- ③ 問合わせ等
  - ① 評価途中における経過等についての問合わせには応じられません。  
結果は、応募者への通知等によりお知らせします。
  - ② 提出された応募書類等の評価資料は、返還いたしませんのでご了承ください。